

MJ進路通信：「進路指導室から、未来へ」



～ようこそ、アップデートされた4年目の案内所へ～

前橋女子高校進路指導部

令和8年度 第15号

令和8年6月12日（金）発行

■進路要覧「みちしるべ」が完成しました

昨年度の卒業生の進学状況のデータをまとめた進路冊子『みちしるべ』が完成し、各クラスで配布されました。この『みちしるべ』には、卒業生たちの受験の様子や合格体験談のほかにも、さまざまな資料が載っていますので、上手に活用して、文字通り合格に向けての「道標」にしてほしいと思っています。合格体験談にばかり目が行きがちですが（もちろん合格体験談には皆さんにとって貴重な情報が満載ですが）、そのほかの資料にもしっかり目を通してほしいと思います。今回は、その『みちしるべ』をどう読み、活用していくかについてまとめてみました。

①入試のスケジュールについて調べてみよう

2ページ以降に記載されている「入試の概要」では、大学入試の大まかな流れや入試のシステム等についてまとめてあります。1年間の流れについて見通しをもっておくことはとても大事。これからどのような手続きが始まっていくのか、頭にいれておきましょう。受験に関わる諸経費もまとめてあるので、家族で受験の計画を立てる際にも参考になると思います。

②過去の先輩の受験状況から自分の目標を定めよう

受験期が近づくと、「国公立大の第二候補はどのようにすればよいのか」「私立の滑り止め（併願校）はどこから選べばよいのか」という相談をよく受けます。そんなときには「本校生が受験する大学ランキング」を見てみよう。もちろん学科やレベルにより選び方は多様ですが、毎年多くの生徒が受験する、ということは、それなりに本校の生徒が魅力を感じ、進学先の候補として考えていることの証でもあります。模試などで、「第8希望まで志望校が埋められない」という人は、下の表から候補を探してみて、自分がどのレベルにいるのかを確認してみるのもよいでしょう。

本校生が受験する大学ベスト20

私立大学

2026年度	人数	2025年度	人数	2024年度	人数	2023年度	人数	2022年度	人数	2021年度	人数
法政	81	明治	133	明治	153	明治	118	立教	107	中央	97
東洋	79	法政	113	立教	102	立教	103	早稲田	95	明治	83
明治	78	早稲田	96	早稲田	101	早稲田	99	明治	91	立教	77
中央	76	中央	76	中央	87	中央	92	東洋	90	早稲田	70
立教	70	東洋	75	法政	85	法政	74	法政	70	東洋	69
芝浦工業	69	立教	75	東洋	63	東洋	71	中央	64	法政	68
東京理科	60	東京理科	62	東京理科	62	東京理科	69	日本	53	日本	61
日本	55	慶應義塾	45	学習院	48	日本	52	東京理科	46	文教	43
早稲田	50	芝浦工業	38	青山学院	42	駒澤	52	高崎健康福祉	41	芝浦工業	39
千葉工業	49	高崎健康福祉	36	成蹊	40	専修	48	東京女子	39	東京女子	38
青山学院	40	青山学院	34	芝浦工業	37	高崎健康福祉	43	芝浦工業	35	東京理科	28
明治学院	39	明治学院	33	上智	35	芝浦工業	43	明治学院	35	北里	27
高崎健康福祉	32	日本	30	慶應義塾	33	慶應義塾	42	獨協	34	獨協	26
文教	30	國學院	26	東京女子	30	青山学院	39	津田塾	29	高崎健康福祉	26
学習院	30	上智	25	明治学院	30	東京農業	31	慶應義塾	28	学習院	24
獨協	29	学習院	24	日本	28	明治学院	29	北里	26	慶應義塾	24
駒澤	29	専修	23	高崎健康福祉	27	日本女子	26	文教	25	駒澤	22
北里	28	津田塾	21	国際医療福祉	23	東京女子	26	専修	25	明治学院	22
専修	26	立命館	20	東京農業	21	上智	26	青山学院	24	杏林	20
成蹊	24	文教	19	北里	20	東海	26	成蹊	23	成蹊	20
順天堂	23	北里	19	駒澤	20					専修	20

③そして、やっぱり先輩方の合格体験談は、しっかり読んでおこう

皆さんにとっては、先輩方の合格体験談は、一番興味のある資料でしょう。自分が行きたい大学の体験談や、部活の先輩などの話であればなおさら気になるはず。この体験談には、卒業生のさまざまな苦労や努力のエピソードが詰め込まれており、読むだけでもモチベーションが上がるのではないのでしょうか。

さまざまな卒業生の合格への道のりには、さまざまなストーリーがあり、その中から自分に適している勉強法や心構えなどを取り入れていくことが大切です。勉強の方法は「これがベスト」というものはなく、あくまで人それぞれにあったものがあるはずなので、全てを真似するのではなく、それぞれのいいところを取り入れて自分なりのベストな学習法を模索してほしいと思います。



今回の合格体験記には総勢24名の卒業生が原稿を寄せてくれましたが、実は「私も是非書きたい」という申し出はもっとたくさんあり（本当にありがたい限りです）、分野の重複やページ数の制約上の問題などでやむを得ず掲載数を絞らせてもらった、という経緯があります。合格後に快く体験談を提供してくれる生徒の多くが、「在学中の苦しい時期に、『みちしるべ』の体験談や進路だよりのレポートなどに励まされたので、今度は自分が恩返しをしたい」と言ってくれています。

在校生の皆さんも、「合格したら『みちしるべ』を書きたい」「合格したら3月の体験談報告会で後輩に話をしたい」という思いをモチベーションに変えて頑張っていてほしいと思います。

■3年学年集会での講話から

5日に3学年では学年集会を行い、1学期後半から夏休みに向けての学習の指針や今後の心構え等について講話を行いました。「もう夏休みの学習の話？」と驚く1・2年生も多いと思いますが、部活を引退して本格的な受験生生活が始まるのが6月。夏休み前のこの時期に受験生としての生活を「本気で」取り組むことに大きな意味があります。進路指導主事講話としてお話しした内容の概要をまとめておきますので、3年生の皆さんはあらためて、1・2年生の皆さんはちょっと頭の片隅に残しておいてほしいと思います。

1. この時期に学年集会を設定することについて

6月は本格的な受験生としての生活のスタート

2. 共通テストまであと何日？・・・「まだ〇〇日」なのか「もう〇〇日」なのか

あと225日→「まだ225日ある！」というポジティブな目線も必要（結構な量がこなせる）

3. 皆さんにとっての「6月」の意味

- ・4月の進研模試の結果から7月の進研模試に向けて

7月にどう変わっているのか・・・6/27（土）が入試の本番だと思って1ヶ月過ごしてみよう！

- ・6月の学習を経て気づいてほしいこと

あれもやりたい、これもやりたい・・・思ったほど進まない（できないことが多い）ことに気づいてほしい
その反省が、夏休みの計画作成のヒントになる

4. この夏は、何をすべきか？

- ・夏休みは、受験の「第一」ラウンド（夏休みは「受験の天王山」という言葉があるけれど）

夏休みで「すべてが決まる」わけではない（過剰な悲壮感は不要）

達成感の得られる目標を立て、取り組むことが重要

- ・「夏休み」があって、「2学期」があって、「冬休み」があって、そして共通テスト

夏休みの一番の目的は「土台作り」特に、「苦手科目を平均レベルに引き上げる」

「これはできた」と「これは残した（→2学期の優先課題）」を明確にする

- ・計画を立てる際のポイント：大きすぎる計画を立てても挫折感しか残らない

前女（生）は引き算が苦手・・・優先順位、ミッションの分割、完璧を目指さないことが重要

- ・過去問は、いつ、どこまでやるのか

候補校については1～2年分くらいは「目を通しておく」（難易度・形式・分野）

志望校を下げたつもりが問題の相性が悪い大学を選んでしまうこともある

- ・「そのうちやろう」・・・次にそれを思い出すのは1ヶ月後かもしれません

足元を見直す→授業の取り組みはどうか（居眠りなんてしている人はもう手遅れかもしれない）

今一番大事な授業に集中できない人が本番にピークをもっていけるはずがない

5. 推薦入試の流れについて

- ・推薦入試は「第一志望」のチャンスを1回増やす入試

受験勉強の免罪符ではありません・・・評定の条件等もあります

推薦の資格があるのは、合格して（合格してからでも頑張っ）、卒業式の日「合格おめでとう」と言わせる人

推薦したことを後悔させる人になってはいけません

6. でも、皆さんのことは、最後まで全力で応援します。最後まで頑張りましょう。